

伝統  未来
かける

文化  産業
かける

仕事  暮らし
かける

都市  田舎
かける

あなた  わたし
かける

VIS manual

視覚表現システムマニュアル
HASHIMOTO CITY Visual Identity System Manual



かける橋・本



橋本市
HASHIMOTO CITY



かける橋・本

VIS manual

視覚表現システムマニュアル
HASHIMOTO CITY Visual Identity System Manual

[マニュアル運用にあたっての諸注意]

本マニュアルは「かける橋・本」のシンボルマークについて、その使用ルールを規定するものです。[かける橋・本] を使用する場合は、必ずこのマニュアルに従い、シンボルとして、そして知的財産としての、イメージの統一的・継続的なコントロールを心がけてください。

実際に使用する際は、本マニュアルの PDF データ及び入稿用 CS データから、用途に最適なアウトラインデータを抽出して活用してください。プリントアウトやビットマップ画像を元に新たに制作するなどの行為は禁止します。

※本マニュアルは [かける橋・本] をマークとして使用する際のルールを規定するものです。背景やイラスト的な要素として使用する場合など、識別標、所有標としての機能が求められないものにおいては、本来のイメージを損なわない表現に限り、マニュアル外の応用を認めます

INDEX

Basic Design ベーシックデザイン

基本形 01

シンボルカラー 02

単色表現 03

領域指定 04

使用禁止例 05

グラフィックエレメント 06

サブシンボル 07

Application Design アプリケーションデザイン

名刺 08

Tシャツ 10

広報用バックパネル 11

缶バッジ、ペン類 12

[基本形 (Type-A)]



かける橋・本

[基本形 (Type-B)]



かける橋・本

<コンセプト>

古来より伊勢（大和）街道と高野街道が交差する要衝として、また、紀の川の水運により、人、モノ、文化が交流することで栄えたまち「橋本市」を、橋本の由来である橋を「かける」、また、道が交わっている様子の「かける」をモチーフとして、表現しています。

また、橋本市を「人と人」、「まちとまち」、「暮らしと仕事」などをつなぐ「かけ橋」としてイメージし、「かける橋・本」をキャッチコピーとしました。ロゴタイプとしては「かける橋」と「橋本」をかけて表現しています。シンボルマークはいろいろなかけはしが集まり、広がり・未来のある橋本のイメージを虹色で表現しています。

<配置>

マークと文字の配置は、Type-A（マークが上、文字が下）を主たる基本形とします。表示する領域が横長の場合はType-B、縦長の場合はType-Cの使用を認めますが、それぞれマークと文字の配置を逆転することは出来ません。

かける橋・本

[基本形 (Type-C)]



[シンボルカラー]



かける橋・本



かける橋・本

<カラーリングポリシー>

ロゴマークは可能な限りプロセスカラー印刷（4色刷）とし、使用される7色それぞれについて、青色以外は特色を指定しません。

ただし狭小な表現など、多色刷が困難な場合は単色刷を認めます。

色校正の基準色として文字部分や左から二番目のアーチに使用される青を「橋本ブルー」として右記に規定します。制作時にはこの基準色が近似となるように調整してください。

[基準色]



橋本ブルー

CMYK : C100.0% M50.0% Y0% K0%

DIC182 ※近似値

RGB : R0 G104 B183

[単色表現]



かける橋・本



かける橋・本

**橋本ブルー**

CMYK : C100.0% M50.0% Y0% K0%

DIC182 ※近似値

RGB : R0 G104 B183

※アーチ右側は橋本ブルーの 50%の濃度 (網掛け)となります。

CMYK : C50.0% M25.0% Y0% K0%

背景色を [橋本ブルー] とする場合は、マーク・文字共に白抜きとし、マークのアーチ右側を橋本ブルーの 50%の濃度 (網掛け) とマークのアーチ右側をします。

墨一色刷

CMYK : C0% M0% Y0% K100.0%

※アーチ右側は 50%の墨 (網掛け) となります。

CMYK : C0% M0% Y0% K50.0%

背景色を [墨一色] とする場合は、マーク・文字共に白抜きとし、マークのアーチ右側を 50%の墨 (網掛け) とします。

特色刷／二色刷等

印刷の都合上、特色刷及び二色・三色刷の場合、墨一色刷 (白抜き) の版を墨版・シアン版等に割り当てることが出来ます。

ただし、シンボルカラーに誤認が起これないように、基本的に [橋本ブルー] 及び墨版を推奨します。

[領域指定 1]



白以外の背景色が用いられた場合、マークに使用されるいずれかの色に干渉し、視認性が確保できなくなります。

また、黒背景でも狭小表示の場合は青が黒と混同される可能性があります。



多色を有するマークが適切に表示されるように、基本形に不可侵の領域(白色)を指定し、背景が影響を与えないようにします。

またこの領域に対しては、他の図像的要素(シンボルマーク、キャッチフレーズ、キャラクターなど)が干渉してはいけません。

単色表現(墨版、橋本ブルー)の場合も同様です。

[使用禁止例]

下記使用禁止例を参考に、誤解・誤認を受けやすい表現、アイデンティティの混乱を招きやすい表現、視認性の低くなる表現については禁止とします。

これらは識別標的に使用される場合に関してであり、それ以外のケースで図形要素として取り扱われる場合においては規定の範囲ではありません。

ただし、この場合においても市のアイデンティティ構築の弊害になる表現、美しさや品位を損なう表現に用いてはいけません。



形の変形・加工
ロゴマークの縦横の比率を変える。



形の変形・加工
ロゴマークを全体的もしくは部分的に変形する。



形の変形・加工
ロゴマークにアウトラインを加えるなどの加工をする。



形の変形・加工
ロゴマークに規定外の要素を加える。



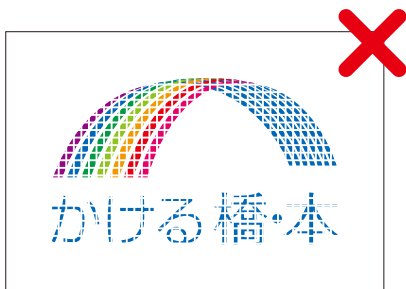
形の変形・加工
欧文・和文の規定外の配置。



形の変形・加工
ロゴマークに規定外の書体を用いる。



カラーの変更
ロゴマークに規定外の色を使用する。



視認性の確保
細部の表現が難しい網掛け表現。



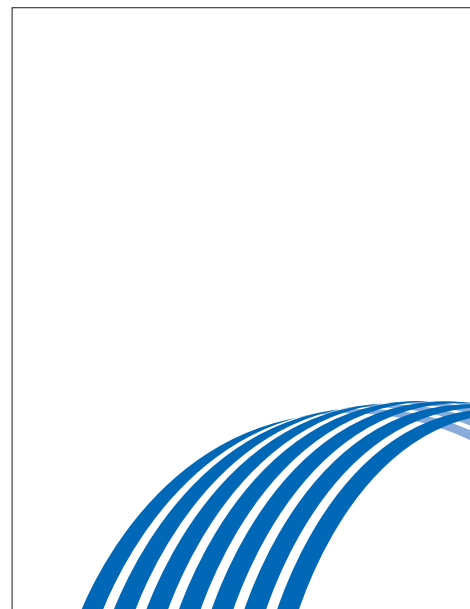
視認性の確保
指定された領域を確保してください。

【グラフィックエレメント】

グラフィックエレメントは、アプリケーションデザイン(ベーシックデザインの応用)において帯やパターンなどの図形的要素として使用されるものです。

シンボルマーク(識別標、所有標、所属標、認証)として使用される場合は、前述の使用マニュアルに基づいて、均質性と視認性が確保される必要がありますが、グラフィックエレメントとして図的に使用される場合は、マークの部分についてのみ加工・修正を可能とします(文字部分は不可)。また、グラフィックエレメントとして使用できる色彩は、単色表現及び白抜きのみとします。

このマニュアルの各ページのヘッダ部分およびアプリケーションデザインの一部に応用例として使用されています。



部分的に表示

ヘッダ・フッタに加工



パターン化



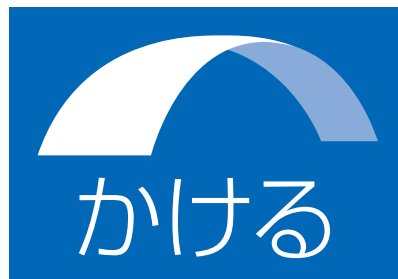
背景として透明度を下げる



[サブシンボル]

サブシンボルはシンボルマークを簡略化したもので、多様なコピーと組み合わせて汎用的に活用できます。

ただし、狭小表示灯のシンボルマークの代替として使用してはいけません。



橋本ブルー

CMYK : C100.0% M50.0% Y0% K0%

DIC182 ※近似値

RGB : R0 G104 B183

※アーチ右側は橋本ブルーの 50%の濃度(網掛け)となります。

CMYK : C50.0% M25.0% Y0% K0%

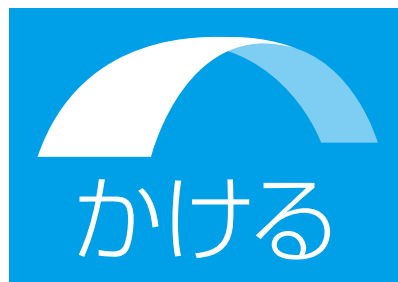


墨一色刷

CMYK : C0% M0% Y0% K100.0%

※アーチ右側は 50%の墨(網掛け)となります。

CMYK : C0% M0% Y0% K50.0%



特色刷／二色刷等

印刷の都合上、特色刷及び二色・三色刷の場合、墨一色刷(白抜き)の版を墨版・シアン版等に割り当てることが出来ます。ただし、シンボルカラーに誤認が起これないように、基本的に[橋本ブルー]及び墨版を推奨します。

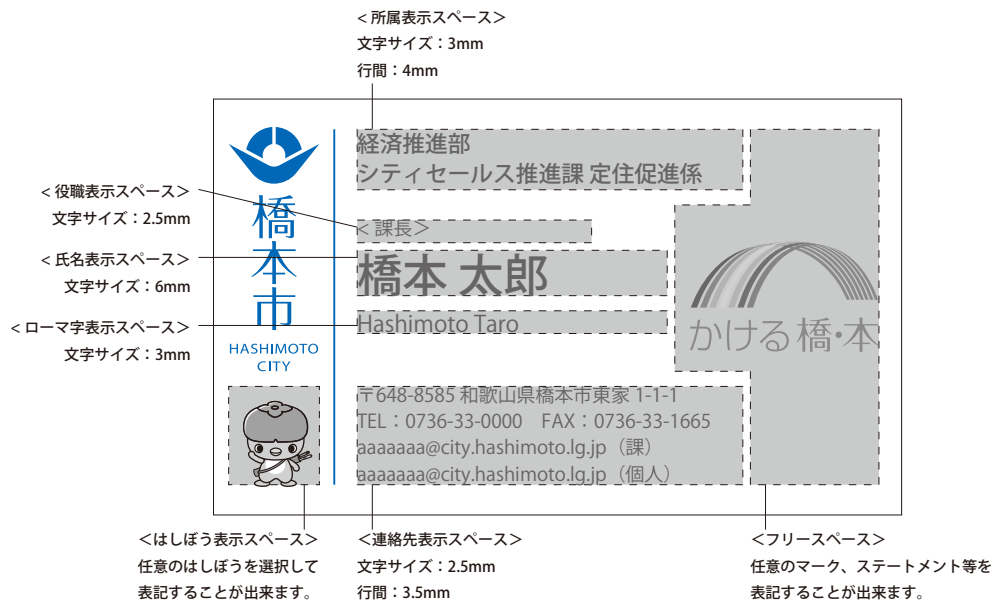
[活用例]

仕事  暮らし = 橋本市

都市  田舎 = 橋本市

あなた  わたし = 橋本市

[名刺横型]



シンボルマーク及びロゴタイプは当マニュアルの規定に基づいて、様々な応用(アプリケーション)が可能です。

橋本市章と組み合わせられる場合は、「橋本市章VISマニュアル」に従い、それぞれが明確に視認性が確保された状態で使用される必要があります。

事例として示す上記の名刺の場合、橋本市章は横幅が15mm以下となるため狭小表示タイプが使用されています。

フルカラー(4色刷)での印刷を推奨しますが、特色二色刷(橋本ブルー+墨)、特色一色刷(橋本ブルーもしくは墨)での印刷も可能です。

[名刺縦型]



事例として示す上記の名刺の場合、橋本市章は横幅が15mm以下となるため狭小表示タイプが使用されています。

フルカラー（4色刷）での印刷を推奨しますが、特色二色刷（橋本ブルー＋墨）、特色一色刷（橋本ブルーもしくは墨）での印刷も可能です。

[Tシャツ]



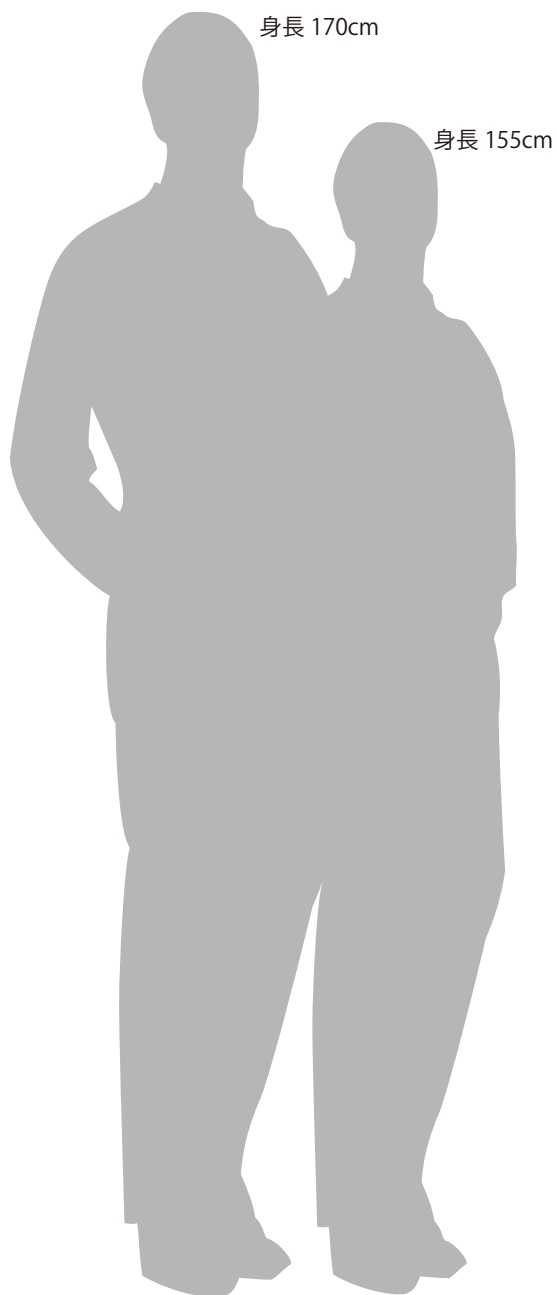
Tシャツ等、シルクスクリーン印刷が用いられる場合は単色表現(橋本ブルー及びび墨)を推奨します。

Tシャツの下地に多色(高彩度有彩色3色以上)が使用できる場合は白抜き表現(シルクスクリーン白一色刷)を用いることができます。ただし、青色が下地の場合は[橋本ブルー]に近似の青色を選択してください。

また、ジャンパー等の他の衣服にも同様の使用を認めます。

【広報用バックパネル】

市章、市ロゴマーク、かける橋・本マーク、はしぼうの4種類を階段状に配置すると共に、背景色を白地と有色の市松模様となるように構成しています。



サイズ：900×1800mm

[缶バッジ]



直径 32mm



直径 32mm

[ペン類]

